

産業建設委員会記録

開 会 年 月 日	令和 6 年10月 1 日
開 会 時 刻	午前 9 時57分
閉 会 時 刻	午前10時43分
出 席 委 員 名	◎福井輝夫 ○三野泰嗣 上村和生 北村 勝
	野口佳子 品川幸久 宿 典泰
	藤原清史 議長
欠 席 委 員 名	なし
署 名 者	上村和生 北村 勝
担 当 書 記	森田晃司
審 査 案 件	議案第91号 令和 6 年度伊勢市一般会計補正予算（第 4 号）（産業建設委員会関係分）
	議案第93号 令和 6 年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第 1 号）
	議案第94号 令和 6 年度伊勢市水道事業会計補正予算（第 1 号）
	議案第101号 伊勢市工場等立地促進条例の一部改正について
	議案第103号 財産の処分について
	議案第104号 市道の路線の認定について
	令和 6 年度 主要な事業の進捗状況及び予算の執行状況等の報告について
	閉会中の継続審査・調査案件について
説 明 員	都市整備部長、都市整備部次長、都市整備部参事、交通政策課長、
	住宅政策課長、産業観光部長、産業観光部参事、上下水道部長、
	上下水道部次長、上水道課副参事、その他関係参与

審査経過

福井委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に上村委員、北村委員を指名した。

その後、直ちに議事に入り、去る9月17日の本会議において審査付託を受けた「議案第91号 令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第4号）中、産業建設委員会関係分」外5件を審査し、いずれも全会一致で原案どおり可決すべしと決定し、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することを決定した。

次に、「令和6年度主要な事業の進捗状況及び予算の執行状況等の報告について」を議題とし、協議の結果、報告を受ける6事業を決定し、また継続調査案件として申し出ることを決定した。

次に、「閉会中の継続審査・調査案件について」を議題とし、協議の結果、「内宮周辺駐車場のあり方に関する事項」を継続審査・調査案件として申し出ることを決定し、閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前9時57分

◎福井輝夫委員長

ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は委員長において、上村委員、北村委員の御両名を指名いたします。

本日御審査いただきます案件は、去る9月17日の本会議におきまして、産業建設委員会に審査付託を受けました6件、「令和6年度主要な事業の進捗状況及び予算の執行状況等の報告について」及び「閉会中の継続審査・調査案件について」の合わせて8件であります。

案件名については、審査案件一覧のとおりです。

お諮りいたします。

審査の方法については、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

また、委員間の自由討議については、申出がありましたら随時行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【議案第91号 令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第4号）（産業建設委員会関係分）】

◎福井輝夫委員長

それでは、「議案第91号 令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第4号）中、産業建設委員会関係分」の御審査を願います。

補正予算書の14ページをお開きください。

款6 農林水産業費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようですので、款6 農林水産業費を終わります。

次に、16ページをお開きください。

款7 商工費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

上村委員。

○上村和生委員

おはようございます。

ここの中の企業立地推進事業について少しお聞きをしたいと思います。

今回補正として1,100万円の補正ということで、プラスの補正ということでもありますけれども、これはこの後審議もされると思うんですけれども、議案第101号、伊勢市工場等立地促進条例の一部改正に伴い発生するであろうと思われる補正予算というふうに理解していいんでしょうか。ちょっと教えてください。

◎福井輝夫委員長

産業観光部参事。

●東世古産業観光部参事

今回補正を計上させていただきましたものにつきましては、条例の改正によるものではございませんでして、この後に県外のほうから新たに市内に製造業で立地される事業所が見込まれますことから、その用地取得にかかる分として計上させていただいたものでございます。以上でございます。

◎福井輝夫委員長

上村委員。

○上村和生委員

というと、この第101号の議案の中で出てくる条例で、まだあと残すところ半年ぐらいあると思うんですけれども、そんな中で発生する補正っていうのは組んでおこなうていいのかなと思うんですけど、その辺はどうなんですか。

◎福井輝夫委員長

産業観光部参事。

●東世古産業観光部参事

これから誘致を行っていく部分につきましては、用地の取得のところからまずは始まるかと思えますもので、場合によっては、いわゆる話がスムーズに進んだ場合は、年度内に例えば用地を取得されてということもあろうかと思いますが、他方でいわゆる創業をされるところまでいっていただいて、奨励金の支払いということになりますので、この残る半年間の中で用地を取得されて、さらに建物も建てられて、いわゆる営業を開始されるというのは、正直ちょっとなかなか時間的にも難しいのかなと思っております。その分については、今回の中では計上させていただいてないというのが実情でございます。以上です。

◎福井輝夫委員長

上村委員。

○上村和生委員

ということは、先にある程度のこういう業者さんがここに、ある場所に、そこで操業を始めようというのを事前につかんでから予算化していくという考え方でいいんですか。

◎福井輝夫委員長

産業観光部参事。

●東世古産業観光部参事

事業を進めていただくに当たりましては、私どものほうからも奨励金の対象の指定というのをさせていただいております。指定をさせていただいてから、事業着手をいただいておりますもので、それ以前にいわゆる伊勢のほうに展開いただく御予定がある段階で御相談をいただくことが多くございますので、その中で全体的なスケジュールというものも私どもも把握させていただきながら、予算のほうも連動させていただいて計画をさせていただいておるという流れでございます。以上です。

○上村和生委員

分かりました。ありがとう。

◎福井輝夫委員長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

今の関連してちょっとお聞きをしたいんですけれども、企業誘致ということですから、多分その企業が伊勢市の内情というのか情報というのか、そういったことを取ろうとすると、多分その位置的な問題も含めてということになると、都市計画課へ行っても、このあたりに広場があるので、企業立地としてどうやろうというような相談をかけると思うんですけれども、そういったときに商工との兼ね合いってというのはどのようにやられているの

か、ちょっとお聞きをしたいと思います。

◎福井輝夫委員長
産業観光部参事。

●東世古産業観光部参事

もちろん御指摘のとおり、いわゆる用途の指定等々もございますので、どちらに御相談に来られてもそれぞれの窓口のほうをこういう制度がありますということで紹介させていただきながら事業のほうを進めさせていただいております。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

そのあたりが縦割りにならず、やはり横との連携をいかにこう迅速にやるかっていうことがもうキーだと思うんですけど、そのあたりのことがきちっとできておるかなという、その企業が企業立地として、伊勢市のほうへ来ていただくのに、何か課題があるということになったときに、それを都市整備のほうで解決するものなのか、公共交通の関係があつてということなのか、道路整備の関係でつていうことなのか、そのあたりの連携というのはどのようにやっていくのか教えてください。

◎福井輝夫委員長
産業観光部参事。

●東世古産業観光部参事

業種にもよろうかと思えますけれども、それぞれの事業内容、それから運営されていく形態等々、いろいろあろうと思えますし、また物流の関係もあれば、人の動きの問題、それから伊勢市全体としての用途の問題、いろいろ重なってくるかと思えますので、そのあたりは事業者さんに迷惑をかけることもなくクリアしていけるように都市整備部と産業観光部で連携しながら頑張っていきたいと思えます。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

分かりました。そのあたりは企業立地としてはすごく大事な部分だと思うし、やはり相談があつたときには、ワンストップで都市計画の問題、交通の問題、道路網の問題等々、やっていただくということになると、やはり起業先としては、こういうところなら立地してもいいなということになろうと思うから、そのあたりのことの連携というのを今以上に頑張っていきたいなと、こんなことを思います。

委員長すみません。商工に関係することで1点ちょっと、産業支援という話ではないんですけれども、お聞きをしたいことがあるのでお許しをいただきたいと思います。

実は私の友人のこの会社へ、鳥羽の商工会議所から「関西万博の券要りませんか」と、前売り券っていう話があって、「伊勢ではそういった前売りの話はないんですか」っていうことやって、私よう答えなかった。公表もしてないような状況だったのですね。それで商工さんにも行って、情報を集めていただいたら、どうも伊勢の商工会議所でも、会議所のホームページというんですかね、そこへ出されてやっておったということなんですけれど、何かそのあたりが一般市民の方、またほかの商工会議所のメンバーではなくても、そういった情報がいただけないということに対して、ちょっとこういうやり方でどうなんかなと思いつながらして、鳥羽や志摩はすごく熱心に、まだ売れる券があるから、前売り券があるからというようなことでやっておったので、そのあたりの関西万博に対する、どういう状況で協力していくかどうかっていうのはもう別として、情報の在り方っていうのはどのような感じになっておったんでしょうか。ちょっと確認をしたいと思います。

◎福井輝夫委員長

産業観光部参事。

●東世古産業観光部参事

券の取扱いにつきましては、ちょっと私どものほうにも別段案内があったわけではございませんでして、私もちょっとそのお話を受けて、ちょっと先方、商工会議所に確認させていただいて、ホームページに掲載をしていたと。ちょうどその確認をさせていただいた日の夕方でもって、お昼過ぎでしたかね、商工会議所としての販売というか、受付終了ということでしたので、ホームページ自体はちょっと確認することができなかったというような状況でしたけれども、そういった中で先方からもちょっと情報提供不足してましたということで一言おわびはあったのはあったんですけれど、現状としてはそういった状況でございます。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

当局の皆さんを責めとるわけじゃないんです。ただ、商工会議所が中心でやっておったとしてもね、商工会議所のそういう情報の在り方というのが、出し方ということについて、非常に僕は問題なんかなと。商工会議所だけで、何か情報を抱えてやるような問題なのかなと。これ万博のことですから、国策ですのでね、やはりこう地域としても盛り上げていくということに対して、その前売りをしとることになると思うので、そのあたりのことはどうなんだろうかって。このことだけじゃなくて、ほかのことについても伊勢から情報を出すときに、何か漏れておると非常にお叱りを受けるようなことも昔聞いたことがあるので、そのあたりのことっていうのは、やはりこちらからもきちっと申入れをしてやらないといかんし、ホームページである程度情報を持った人だけが、何か前売り券を買えたみた

いな話はいかんと思うんですね。そのあたりのことについて、皆さんに物を言うとは話じゃないんですけども、そういったことについては極々注意をしてほしいなとこんなことを思いますので、よろしくお願いします。

◎福井輝夫委員長
産業観光部長。

●佐々木産業観光部長

情報の収集、それから提供の在り方については、アンテナを高くして、各関連団体等と連携を強化しまして、その辺考えていきたいと思いますので御理解のほどよろしくお願いします。

◎福井輝夫委員長
他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長
他に御発言もないようですので、款7商工費を終わります。
次に、18ページをお開きください。
款9土木費を款一括で御審査願います。
御発言はありませんか。
北村委員。

○北村勝委員

すみません。そうしたら住宅・建築物耐震改修等促進事業について少しお伺いしたいと思います。

当初の予算が1,500万円ですが、今回944万円の補正を組んでいただくということなんですけど、この概要を見ましたら、「無料耐震診断の申込み件数が当初の想定を大きく上回るため、増額補正する」ということが書いてあるんですけども、そういった、いろんな件数も含めてどのような状況で、増加の形になっているのか、少し詳しくお聞かせ願えませんか。

◎福井輝夫委員長
住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

お答えいたします。

今年度当初につきましては、耐震診断300件の検討をしておりました。

この300件なんですけども、実は8月の末にもうこれに迫るような数字になってまいりまして、このたび200件の補正をお願いしたいというふうに考える次第でございます。

ちなみに令和5年度、それから令和4年度につきましては、170件の検討で大体実績も

そのあたりになっておりますので、今年度は診断の申込みが著しく増大しているところであるというふうに考えます。以上です。

◎福井輝夫委員長
北村委員。

○北村勝委員

ありがとうございます。

原因としては今年の能登半島の地震とか水害の被害とか、いろんな形で被災された方の部分で増えたのかなと推測するわけなんですけど、そういった増えた理由とといいますか、そういう把握されてたら確認させていただきたいんですけど。

◎福井輝夫委員長
住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

やはり正月の能登の地震、それから8月の南海トラフの臨時情報あたりが大きく響いているのではないかとこのように考えます。

また今年度から、職員をもって、市内戸別訪問に回らせていただいております。この影響も少なからずあるかというふうに考えます。以上です。

◎福井輝夫委員長
北村委員。

○北村勝委員

ありがとうございます。

そういった南海トラフ、戸別訪問という形の中で危機意識を感じて、こういった診断のほうの要望が多くなってということは理解させてもらいました。

それで予算書を見ると国庫支出金、それから県支出金がついて、それから市単も入っているわけなんですけども、これはあらかじめ市のほうから要望されたのか、それか国の国策のほうでついてきたのか、ちょっとそこら辺確認させてください。

◎福井輝夫委員長
住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

こちらにつきましては事前に申合せができておる分でございます。

一応割合につきましては、国が2分の1、県と市がそれぞれ4分の1という格好になっております。以上です。

◎福井輝夫委員長
北村委員。

○北村勝委員

ということは、要望は上げていただいたということになるわけですね。

そうした中で、改修の、こういう形で進んでいただく中に、診断をする中で、この人たちがそういう診断の結果、改修に至るというのは、当然そういった心配をするために改修されるわけですが、そういったところにつないでいくっていう情報なんかはどれぐらい進んでるのか、ちょっと確認させてください。

◎福井輝夫委員長
住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

お答えいたします。実はこの耐震診断というのは結構時間がかかってしまうものでございまして、今年度県内でもやっぱりほかの市の市民の皆さんも関心が高まっていまして、かなり件数が増えているというふうに聞いております。

この加減で委託先で時間がかかってしまって、今のところの8月末で、今年度に入ってから、それぞれ診断が終了したものについては160件ほど、それから設計に進めたものが7件、それから工事につながっているものというのはまだ今のところございません。それから、シェルターについては4件ほどが4月以降で受け付けているところでございます。以上です。

◎福井輝夫委員長
北村委員。

○北村勝委員

ありがとうございます。上限150万円ということで、今後こういった形で診断されて、そういった改修につながっていくということで、安全確保ができるのかなと思いますので、今後ともひとつよろしく願います。

◎福井輝夫委員長
よろしいですか。
他に御発言はございませんか。
品川委員。

○品川幸久委員

北村委員のほうから詳細に聞いていただいたんで、1点だけ教えてください。

今回、当初のときに耐震のできてない建屋というのは1万2,000軒ぐらいあったかな。ちょっと数字をお願いします。

◎福井輝夫委員長
住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

耐震ができていないものにつきましては一応1万2,500軒というふうに見積もっております。以上です。

◎福井輝夫委員長
品川委員。

○品川幸久委員

これを全部調査して直してくださいねとか、そういうことをこの5年間でやるということになっておるんですけど、進捗状況というのは、これだけ今無料診断が増えてきとるのはよく分かるんですけど、どれぐらいまで、今、5年のうちの、進んだのか、ちょっと教えていただければありがたいかな。

◎福井輝夫委員長
住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

6月半ばから訪問を開始いたしまして、それから9月末の戸別訪問の実績ですけれども、訪問できた御家庭は1,840軒となっております。

それから、その中で申請を受け付けている数は累計で80件でございます。

それから、あとは不在が900軒と半分ほどになっておりますので、今後この不在のところでさらに埋めに行くといういったところも考えてまいりたいというふうに考えます。

◎福井輝夫委員長
品川委員。

○品川幸久委員

ありがとうございます。最初するときにも不在の部分が多いし、例えば耐震指定してねって言ってもされない方もあって、100%は絶対無理なんで、あとこれ不在のほうを後回しにしながらどんどん先に増やしていくのか、不在を埋めてから進んでいくのかで大分、進める範囲が違ってくると思うんですけど、その点どうなんかな。

◎福井輝夫委員長
住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

内部でも議論が分かれるところなんですけども、やっぱりまずは広く知らしめるといったことに注力したいなというふうに考えております。以上です。

○品川幸久委員

分かりました。ありがとうございます。

◎福井輝夫委員長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

他に御発言もないようでありますので、款9土木費を終わります。

以上で議案第91号中、産業建設委員会関係分の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第91号 令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第4号）中、産業建設委員会関係分」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

【議案第93号 令和6年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）】

◎福井輝夫委員長

次に、「議案第93号 令和6年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）」を御審査願います。

35ページをお開きください。35ページから37ページです。

本件については一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

今回、業務委託として2,100万円あがっておるんですけれども、この業務委託の内容はどういったことをしていただくんでしょう。

◎福井輝夫委員長

交通政策課長。

●平見交通政策課長

業務内容ですが、大きく4点ございます。

1つ目は、PFI等のPPPの数ある手法の中でどの事業の手法がこの伊勢市の駐車場に最適かというのがまず1点目です。

2点目につきましてはおのこの手法について法律であったりとか、制度について適合性があるか、そのあたりのリーガルチェックをかけるのが2点目です。

3点目につきましては、この駐車場、いわゆる駐車場業務についての市場調査、どういう事業体が組んでもらってやってもらうのが最適かというようなことを判断するのが3点目でございます。

最後4点目につきましては、これ官民連携、PPPで一番重要な部分なんです、VFMという数字を出すのですが、それはいわゆる民間を活用したら、従来の公共事業でやるよりも何%コストがかからないかというのを数値的に示すんですが、それをおのこの事業手法について数字を出していくというような評価、この大きく4点が今回の業務の内容でございます。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

そうしますと、皆さん当局側で持っておる情報というのは、もう今までもやってきて非常に多岐にわたってあると思うんですけども、そういったことも利用しながらということですけども、2,100万円でこの4点についての調査をやって、その判断を我々議会もいただいて前に進んでいくというような、そういう流れになっていくんでしょうか。

◎福井輝夫委員長

交通政策課長。

●平見交通政策課長

議会への情報提供というか、議論なんです、前回の協議会のほうで概略といいますか、こういうイメージということで進めたいということで御報告させていただいたのですが、やはり次の大事なポイントとして、どの位置にどういう建坪で、何階建ての立体駐車場、どういうものを建てるかっていうのが大きく一つのポイントで、もう一つはやはり駐車場料金という内容、あと精算機はどのような形にするとか、細かい話ですとそういうところもあるのですが、まずはこのコンサルへの業務をする前に一度議会のほうに案を御説明をさせていただいて、御判断をいただいた上でこの業務の内容を検討していくというような手続で進んでいきたいと考えておりますので、まずはその場所であったりとか、お金とか、そういう部分について議会のほうへ説明させていただく、その後にコンサルさんのほうで民間の活用の評価をしていただいた内容を合わせた形でもう一度また議会のほうに御判断いただくというような手続で進んでいきたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

そうしますと、この４件の調査をして、今言われた場所の問題、料金、そして精算機の問題ということになってくるということになるんですけど、ここで１点お聞きをしたいんですけども、いわゆる精算機ということになるとＩＣカード云々のシステムの問題ということになってくるんですけど、どうも私新聞でしか見てないんですけども、熊本のほうでは、鉄道と路線バスのＩＣカードのシステムを変えたと、何でやということが書いてありましたけれども、更新時に多額の費用がかかるということで、システムの変更をしたというようなことになるわけでありますけれども、当然、伊勢もＩＣカードっていろんなところを共通の利用ができるということで、便利さを売り物にしておるんですけど、そのあたりのことというのは、今回のＩＣであったり、精算機の問題としては、何か影響はどんなんでしょう。影響というのは、また入れたけども更新時に多額の費用がかかるというようなこともこのコンサルの方は御承知なのかどうかっていうことを非常に気になるんですけど。

◎福井輝夫委員長
交通政策課長。

●平見交通政策課長

ＩＣカードのそもそもの加入費であったりとか更新費用というのは、これ以前から言われていることで、全国的にそういうの話題になっている中で熊本は、もう独自のシステムを入れてやっていこうということで進んでいったわけなんですけど、まだ、ただそういう状況であってもＩＣが主流というのは現状ですので、何らかの形でＩＣカードの決済の手法についても考えていきたいとは思っているんですけども、今、宇治の駐車場で考えているのは、いわゆる車番認証の事前決済であったりとか、あと全国的に普及しつつあるＥＴＣ決済ですね。そういう形をメインにやっていこうと考えておりますので、特段ＩＣに特化してそれを中心にという認識では現在いませんので、そのあたりＩＣ関連の御心配というのは余りないかと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

いずれにしても、今度のそういったことがＰＦＩであったりＰＰＰであったりというようなことで、外との関係で民間の方との協働でやっていくということですから、当然これにはコストと効果というのがどうであるかということが評価されると思うので、そのあたりのことは十分認識をしていただきながら、新しいやり方でやっていただきたいと思います。

すので、よろしくお願いします。

◎福井輝夫委員長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

他に御発言もないようですので、以上で議案第93号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第93号 令和6年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

【議案第94号 令和6年度伊勢市水道事業会計補正予算（第1号）】

◎福井輝夫委員長

次に、「議案第94号 令和6年度伊勢市水道事業会計補正予算（第1号）」を御審査願います。

39ページをお開きください。39ページから47ページです。

本件についても一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

この件は、多分6月26日の事故を受けての補正ではないかと、こう思っておるんですけど、そういったことも説明あったかなと思うんですけど、このあたりの状況だけ説明ください。

◎福井輝夫委員長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

今回の補正の内容でございます。今回の補正といたしまして2,520万円ということで計上させていただいておりまして、これは先ほど委員仰せのとおり、6月26日に発生いたし

ました岡本3丁目の漏水に伴い、必要となった経費を計上させてもらっておるものでございます。

主に、修繕工事費であつたりとか、あるいはあと、修繕工事に伴います交通誘導業務、また、濁水対応のための給水活動支援業務などといった内容になっております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

この件については本当に上下水道部に頑張っていたと思うんです。大変高く評価をしたいと思います。

私はあそこということになると、市民への影響もすごくあるんだろうし、10日以上かかってしまうのではないかなというようなことで見ておったら、非常にそういった事故があつたことに対する対応というのはすばらしかったかなと、こんなことを評価をしたいと思います。

それで今回のこの委員会に合わせたみたいに、今日、伊勢新聞を見ておったら、水道管の耐震化について、国交省が何かこれから耐震化をするに当たって、市民の方への理解を促すというようなことで、水道カルテを作成するんやというようなことが出ておつたんですけど、これについては、当然、新聞見てもらつとるのか、それまでに情報があつたのかちょっと分かりませんが、耐震の状況をカルテをつくって、どこが全国的に遅いのか、早いのかというようなことにはなってくると思うし、そういったことについて、情報を捉えておるのかちょっとお聞きをしたいと思います。

◎福井輝夫委員長
上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

耐震化計画におきましては、つい先日、我々も説明会を受けたばかりでございます。説明会を受けた内容ですけれども、今後、作業をしてくださいということで、今後、約7年度からの計画ということで、管路や水道施設の耐震化における目標値というのを定めてくださいねと、それを定める作業というのが、これからしてくださいという依頼があつたところでございます。報道でもあるように今年度中の策定ということを目指しておると聞いておりまして、我々もそれに目がけた作業してくださいということで依頼を受けております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

私この中の文章だけ読んで申し訳ないんですけども、耐震化には財源が要ると、その財源が要るために、やはり水道料金の増額っていうのか、水道料金が上がるといような状況にも、この文書を見ている限りはあるのかなというように、そういったことを市民の方に理解をしてもらいながら料金体系を変えるんやってみたいに読めるんですけど、そのあたりの状況についてどのように説明を聞かれたのか教えてください。

◎福井輝夫委員長

上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

具体的にどういった流れでっていうのはまだはっきりしておりません。

ただ、推測にならざるを得ないところもあるんですけども、今委員おっしゃられたように、今後、耐震化を進めていく上の重要な財源である水道料金について、市民の皆様にご理解をいただくっていうことで、こういったことが起こってきたのだというふうに思っております。

一方、国交省のほうとしましては、水道のほうにつきましては、基本的には水道料金、そういった諸収入で採算を取ってやっていくというのが大原則であるという認識は持っております。

その中で各市町がこのような非常に耐震化が遅れているという状況を踏まえて、国の補助であったり、そういったものをこれから積極的に取り入れていこうという思いもあるというふうにこちらでも認識しておりますので、こういったことを2つ考えますと、やはり水道事業として適正な会計を維持することで補助金を頂けるといようなほうに持っていくようなことで国交省は考えておるのではないかとというふうに考えております。

当然、健全な経営というのは大事なことでと考えておりますので、今後もこういった健全な経営に努めながら、国の情報もつかみながら、耐震化のほうに取り組んでまいりたいとこのように考えております。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

決算のときにも随分お話をさせていただいて、質問もさせていただいたんですけど、結局は耐震化を理由に水道料金を上げるなんてことはもってのほかだとは僕は思うんですね。今まで1年間の中で、このキロ数だけ耐震化をやっていいこうねということで予算を組まれてやっておるわけで、それ以上やるということであれば国交省がもっと金出せよっていう話には僕は思うんですけど、当然能登であったりとか、先ほどから話題になっておる南海トラフなんかの話を聞くと、これは国事業できちっと整備をやっていかないと、やっぱり人口減少でこういった高齢化になっていような地域で料金だけ上げれば済むという話ではないと思うんです。

カルテをつくるということは僕は大事な話だと思うんですけど、そのあたりの上下水

道部の態度というのか、国交省に金出せよという態度をきちっと示してもらいたいと思うんですけど、そのあたりはどうですか。

◎福井輝夫委員長

上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

今おっしゃられたとおりだというふうに考えております。

要望活動のほうも今年度から下水道事業に併せて水道事業も行っておりますので、今後ともそういった声を、地方の声を国のほうに届けていきたいというふうに考えております。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

新総裁ができましたから、その方にもよく理解していただけるようお願いをしたいと思うんですけど、あと1点、カルテっていうのができたときに、我々にも公表というのはどのようにやっていただけるのか、それを答え願えませんかでしょうか。

◎福井輝夫委員長

上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

作成の仕方とか、公表の仕方については、今後国からいろんな案が示されると思いますので、そういったことを情報収集しながら、情報提供をさせていただきたいというふうに考えております。

○宿典泰委員

ありがとう。

◎福井輝夫委員長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

他に御発言もないようですので、以上で議案第94号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第94号 令和6年度伊勢市水道事業会計補正予算（第1号）」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

【議案第101号 伊勢市工場等立地促進条例の一部改正について】

◎福井輝夫委員長

次に、条例等議案書の30ページをお願いします。

30ページから39ページの「議案第101号 伊勢市工場等立地促進条例の一部改正について」を御審査願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようですので、以上で議案第101号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第101号 伊勢市工場等立地促進条例の一部改正について」は、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

【議案第103号 財産の処分について】

◎福井輝夫委員長

次に43ページをお開きください。

43ページから46ページの「議案第103号 財産の処分について」を御審査願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようですので、以上で議案第103号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第103号 財産の処分について」は、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

【議案第104号 市道の路線の認定について】

◎福井輝夫委員長

次に、47ページをお開きください。

47ページから49ページの「議案第104号 市道の路線の認定について」を御審査願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようですので、以上で議案第104号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第104号 市道の路線の認定について」は、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で、付託案件の審査は全て終了しました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については、正副委員長に御一任願いたいと思いますが御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

【令和６年度 主要な事業の進捗状況及び予算の執行状況等の報告について】

◎福井輝夫委員長

次に、「令和６年度 主要な事業の進捗状況及び予算の執行状況等の報告について」を御審査願います。

本件については８月２６日の産業建設委員協議会におきまして、報告を受ける事業を５事業程度とし、その選定については正副委員長に一任されております。

本年度はお配りした資料に記載の６事業を報告対象の事業といたしたいと思いますが、御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようですので、お諮りいたします。

当局から報告を受ける事業については、「排水機維持管理経費（機能更新）」、「選ばれる観光地づくり推進事業」、「外国人観光客誘致推進事業」、「排水機場維持管理経費（ポンプ場機能更新）」、「岡本吹上線改良事業」、「住宅・建築物耐震改修等促進事業」と決定し、また本件については、閉会中の継続審査・調査事項として申し出ることに決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

【閉会中の継続審査・調査案件について】

◎福井輝夫委員長

次に、「閉会中の継続審査・調査案件について」を御協議願います。

当委員会の閉会中の継続審査・調査項目として、配付しました産業建設委員会の継続審査・調査案件一覧表のとおり調査をしております。

本日は、閉会中の継続審査・調査項目について提案させていただきたいと考えております。

８月２６日の産業建設委員協議会において、「内宮周辺駐車場のあり方について」、当局から報告をいただき、御協議をいただいたところでありますが、本件につきましては極めて重要な項目であり、駐車場を整備していくことになると、多額の費用がかかることから、本委員会として、継続審査・調査案件に追加し、重点的に協議していったらどうかと考えております。

このことについて御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようですので、それでは閉会中の継続審査・調査項目として、委員長から提案させていただきます。

これまでの「中心市街地活性化に関する事項」、「地域公共交通に関する事項」、「商

業活性化に関する事項」、「観光振興に関する事項」、「農林水産に関する事項」に加え、「内宮周辺駐車場のあり方に関する事項」を提案いたします。

こちらについても、閉会中の継続審査・調査事項として申し出ることに決定しまして御異議ありませんか。

「異議なし」と呼ぶ者あり」

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で御審査いただきます案件の審査は終わりましたので、これをもちまして産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時43分

上記署名する。

令和6年10月1日

委員長

委員

委員